

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さん本人の承諾を得て行った質問票への回答結果を使用いたします。

患者さんが未成年者である際の親権者または未成年後見人にあたる方がこの研究の内容を詳しく知りたい場合や、質問票への回答結果を研究に利用することをご了解いただけない場合は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 睡眠・覚醒相後退障害患者における光曝露の調査

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院睡眠医療センター

【研究責任者】 淡野桜子（睡眠医療センター 医員）

### 【研究の目的】

睡眠・覚醒相後退障害（睡眠相後退症候群とも呼ばれる、DSPS）は、若者によく見られる睡眠障害です。DSPS を発症すると、睡眠の時間帯が、同年代の平均よりもかなり遅くにずれこみ、学校や会社に間に合う時間に起床できなくなります。DSPS の治療として、これまで、生活指導や高照度光療法、睡眠薬を用いた薬物治療などが行われてきましたが、従来の治療では十分な効果が得られない場合も少なくありませんでした。

今後、睡眠医療センターでは、新しい光療法を行うことを検討しています。今回の調査では、DSPS の患者様に対してふだんの生活で浴びている光や用いているモバイル機器についてのアンケート調査を行うことによって、今後の研究でより効果的な治療を実施するための手がかりを得ることを目的としています。

### 【研究の方法】

DSPS のため愛媛大学医学部附属病院睡眠医療センターに通院中で、15 歳以上で中学を卒業されている、もしくは 16 歳以上の患者様 20 名を対象とします。参加いただく期間は 2021 年 10 月までとなります。対象となった方は、寢室の光環境やふだんの生活で光を浴びる状況、モバイル機器の使用状況などについて全部で 22 問の選択式の質問紙に回答いただきます。ご回答いただくには 10 分ほどかかります。質問紙に協力いただくのは 1 回のみで終了となります。

す。

**【個人情報の取り扱い】**

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院睡眠医療センター 淡野桜子

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院睡眠医療センター 淡野桜子

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5971